

田植の風景を見て、民謡・**米節**を思い出した。私は米で育っている。

**米**という字を分析すれば、**八十八度の手が掛かる。お米一粒、粗末にならぬ、**

**米はわれらの親じゃもの 米の成る木で、作りしわらじ、踏めば小判の 跡が付く**

**金の成る木がないとは うそよ 辛抱する木に 金になる、**と3番の歌詞へとつづく。

この歌は、歌詞が好き。それだけに田植や稲刈りの光景は、親しみがある。

機械化など、時代が変わっても、大変なお仕事。元気づけられる。

一休みされているお二人。別の場所でも、八十八度、いろいろなお仕事がある。



## ～～山はみどり 野に花 人にはこころ～～

朝早くから日暮れまで頑張っておられることが多い。お天気にも左右される。

その様子を見学していると、元気が湧くから不思議。

元気を取り戻し、次へ進んだ。別の場所でも、いろいろ取材、見学させてもらった。

